

# 平成30年度 決算審査

決算審査はなぜ  
9月議会なの

●年度末会計年度  
(3月末日終)

●出納の閉鎖

会計年度終了日から5月31日までの間、決算年度に係わる現金の未収、未払いの整理を行う期間(出納整理期間)が設けられる。  
(地方自治法235条(5))

●決算の調整

出納の閉鎖後、会計管理者は決算書及び付属書類(歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書)を作成し、市長に提出する。  
(地方自治法233条)

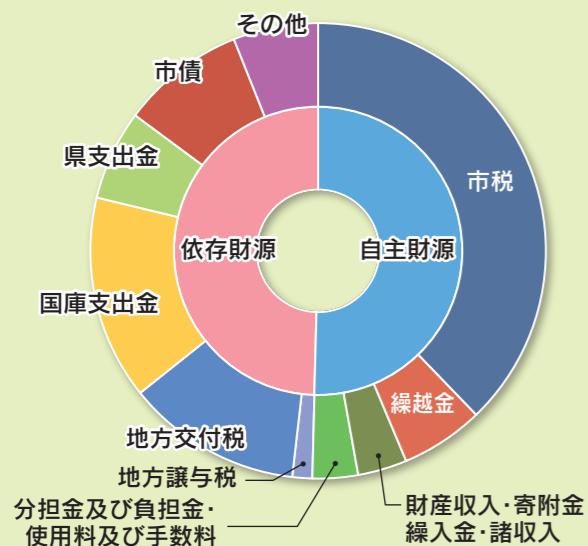
●監査委員の決算審査

市長は決算書及び付属書類を監査委員の審査に付す。監査委員は決算審査を行い、意見書を作成する。  
(地方自治法233条)

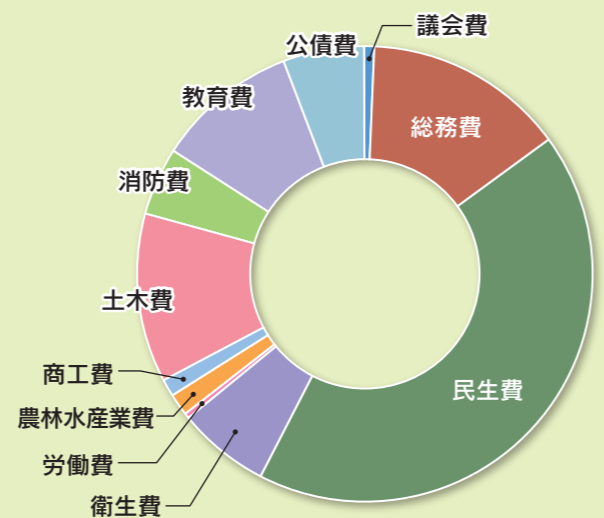
●議会提出(9月議会)

市長提出議案として市議会に提出する。  
(地方自治法233条)  
議会は決算特別委員会に付託し、審査を行う。

平成30年度一般会計歳入決算款別内訳



平成30年度一般会計歳出決算款別内訳



## 厳しさを増す地方財政 深谷市は？

### —主なポイント—

現下の地方財政を取り巻く状況は、歳入面では、地方交付税の合併算定替による割増交付が令和2年度に終了する等の理由から先細りが予想されます。一方、歳出面では扶助費などの義務的経費が増加傾向にあり、今後の財政状況は厳しさを増していくことが見込まれます。このため、市としては、総合計画の目標達成に向けて最小の経費で最大の効果を生み出すよう努めるとともに、自主財源の確保に向けて、徴税強化や花園インターチェンジ拠点プロジェクトの推進、渋沢栄一翁を取り巻く機運等をいかし、多種多様な主体による重層的な取り組みにより財政基盤の充実に繋がります。

## 財政

### —主なポイント—

財政力指数 0.773  
 経常収支比率 85.2%  
 実質公債費率 -0.7%  
 将来負担比率は生じていない ※数値については4・5ページに説明あり



### 市の貯蓄額が増加

- Q 市の財政調整基金残高は122億円となっている。市民の暮らしや支援にもっと活用すべきではないか。
- A 扶助費等が増加傾向にある中、将来の財政需要に備えることも必要。今後とも中長期的な視点に立ち、各種基金を計画的に活用しつつ、将来に渡る持続可能な財政運営と必要な市民サービスの提供に努めていきたい。

### 景気回復への期待

- Q 地方消費税交付金が増えているのは何故か。
- A 平成30年度の地方消費税交付金の清算基準割合の改正により、消費する居住地の人口への割合が高まったことから、増額したものとされる。

### 公債費比率がマイナスに

- Q 実質公債費比率がマイナス0.7になった理由は。
- A 各種事業の財源対策に合併特例債など、交付税算入率の高い地方債を活用し、実質的な公債費負担の抑制に努めているため。

### 市の借入金の基準について

- Q 市債の借入れ先、利率、期間はどのような基準があるのか。
- A 借入れ先については、県の同意のもと、地方債の種類等によって公的資金、民間資金の利用について一定の割り振りを行っている。利率については、公的資金については金利の提示があり、民間資金については照会をした結果、有利なものを利用するようにしている。期間については、対象となる建築物などの耐用年数を考慮している。

歳入内訳 ※網掛けは自主財源

款	決算額	款	決算額	款	決算額
市税	19,367,671	自動車取得税交付金	273,394	県支出金	3,283,862
地方譲与税	642,943	地方特例交付金	98,882	財産収入	202,331
利子割交付金	25,835	地方交付税	6,397,255	寄附金	313,570
配当割交付金	71,814	交通安全対策特別交付金	21,072	繰入金	466,314
株式等譲渡所得割交付金	66,076	分担金及び負担金	1,270,592	繰越金	3,022,511
地方消費税交付金	2,539,649	使用料及び手数料	437,593	繰入金	764,025
ゴルフ場利用税交付金	38,745	国庫支出金	7,352,552	市債	4,486,000
				合計	51,142,686

歳出内訳

款	決算額	款	決算額
議会費	300,369	商工費	571,184
総務費	6,847,384	土木費	5,755,879
民生費	20,380,687	消防費	2,299,926
衛生費	3,092,920	教育費	4,845,689
労働費	82,838	公債費	2,730,135
農林水産業費	919,835	合計	47,826,846

※決算額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

9月定例会 (9/2~9/26...25日間)

【本会議】	
2日・5日	議案説明・議案質疑
19日・20日・24日	一般質問
26日	採決
【委員会】	
9日	産業建設
10日	総務
11日	福祉文教
12日・13日	決算特別委員会

# 決算特別委員会 で審査

令和元年第2回定例会は9月2日に開会し、26日までの日程で開かれました。深谷市議会では決算認定関連議案を決算特別委員会に付託し、集中審査を行っています。平成30年度決算は、清水議長、議会選出監査委員の三田部議員を除く全議員で構成される決算特別委員会で審査しました。